

令和2年度第2回食の安心・安全意見交換会（報告）

令和2年9月8日

農 政 課

- 1 日時 令和2年8月27日（木）13:30～15:30
- 2 場所 京都府公館 第5会議室
- 3 出席者 消費者団体9名、
京都府関係職員11名（内5名オンライン参加）
- 4 概要



（1）説明内容、主な質疑応答と意見

食の安心・安全行動計画及び健康おぼんざいの普及についての取組を説明し、意見交換を行った。また、with コロナ時代の新しい生活様式を踏まえた健康づくりの推進について情報提供した。

ア 京都府食の安心・安全行動計画取組状況について（農政課）

問 食の安心・安全行動計画は担当課が多部署にわたっていて、中にはコロナ禍の対応に直接関連している健康福祉の部局も担当課にあると思う。コロナ禍で実際に食の安全の事業に取り組まれている部署では、通常の食の安全の事業に影響が出ていることはあるのか。

答 食の安心・安全行動計画は全庁的な計画であり、方法を検討して実施しているものもあるが、健康福祉部などでは影響がある。例えば、各保健所で実施している食品の収去検査では、検査機関の保健環境研究所が新型コロナウイルスのPCR検査機関であり、6月までは、食品の収去検査体制を一時的にストップしてPCR検査体制に傾注していた。収去検査は現在再開されており、順調に検査が進んでいると聞いている。

イ 大手スーパーと連携した中食世代の健康おぼんざいの普及について（健康対策課）

問 興味深い取組だが、今後コロナ禍の中で取組を広めていくために、具体的にどのような工夫をして展開されるのか、現時点で考えがあれば教えていただきたい。

答 今年度は新型コロナウイルスの影響により新規のスーパーを開拓して昨年同様、体験型啓発イベント等の取組をすることは難しいと考えている。今後、昨年の取組の結果を踏まえてお惣菜コーナーで流して活用いただけるような、適塩の推進に関する動画を、作成したいと考えている。

ウ with コロナ時代の新しい生活様式を踏まえた健康づくりの推進について（健康対策課）（情報提供）

（2）アンケート結果

ア アンケート集計（本日の意見交換会はいかがでしたか。）

5点満点で4.2点

イ 参加者の意見、感想

- ・コロナ禍の中でも、食の安心・安全の取組を継続されておられることが分かって、頭が下がります。食の安全が第一ですが、コロナ禍の中、一人一人が豊かな食生活を維持できるように、知恵を出し合っていけたらと思います。
- ・新しい生活様式の中で、色々な飲食店でテイクアウトが販売されるようになりました。衛生面の指導や食中毒対策の強化をお願いしたい。
- ・新型コロナウイルスの情報提供は、正確な情報を再確認できてよかった。